

004



教員特別研究(先進的研究)成果報告書 | 配分研究費:691千円

遠州地域の鉄道に学ぶ、地域振興と経営改善に関する研究

目的・概要

本研究は、地域鉄道グループとして全国首位の売上規模を誇る遠鉄グループが、地域密着型でありながら多角的事業展開と持続的成長を実現してきた背景にある経営構造と組織メカニズムを明らかにするものである。

特に、経営戦略・人事戦略・労使関係の視点から、多領域展開と地域特性の関係、企業間統合や地域共生の仕組みを実証的に分析し、理論的枠組みに基づきそのメカニズムを解明することを目的とする。

期間

令和5年4月1日～令和7年3月31日

研究担当者

デザイン学部 デザイン学科 准教授 中川 晃(研究代表者)

スケジュール

令和5年4月～令和6年3月

遠州鉄道・天竜浜名湖鉄道・大井川鐵道の財務分析、関係者へのインタビューによる予備調査、文献を中心とした先行研究調査

令和6年4月～令和6年12月

遠州鉄道職員へのインタビュー、アンケート調査、関連する経営学理論の整理、「遠州鉄道展」の準備

令和7年1月～2月

「遠州鉄道展」準備、開催

令和7年3月～6月

遠州鉄道職員への追加インタビュー、アンケート調査(2次)、比較する他の鉄道事業者へのアンケート調査、多変量解析を中心とした分析、論文執筆

研究成果

〈研究・企画展示〉

「遠州鉄道展」開催による研究中間報告および市民向け展示

(開催期間・会場)

令和7年2月8日～10日 静岡文化芸術大学西ギャラリー

(展示概要)

遠州鉄道の鉄道・バス現場職員を対象にした意識調査(インタビュー11名、アンケート34名)をもとに、写真と言葉で“安全・安心”への取り組みと現場の姿を紹介。市民に向けて同社の地域貢献と職員意識の高さを可視化した。

(成果・反響)

来場者約400名、TV1社・新聞3社・ネットメディア3社が取材。

〈研究・論文〉

「遠州鉄道グループにおける統合経営の構造的分析

(研究概要)

地域密着型ながら全国屈指の経営規模と成長性を誇る遠鉄グループの統合経営を対象に、経営戦略・人事戦略・労使関係の3側面から理論・実証両面で分析。質的調査(幹部インタビュー4名)と量的調査(鉄道事業者4社の社員167名アンケート)を組み合わせた混合研究を通じ、多変量解析により、地域資源の活用、人的ネットワーク、制度的支援、協調的労使関係、安全・安心への高い意識が相互に関連する統合的経営メカニズムを明らかにした。

(研究成果)

①論文1編(執筆済)

②紀要論文1編(執筆中)

③学会発表(実践経営学会、令和7年8月)



今後の研究成果の還元方法

・論文

①実践経営学会学会誌(令和8年春予定)

②静岡文化芸術大学紀要(令和8年4月予定)

・学会口頭発表(令和7年度 実践経営学会全国大会 令和7年8月)

・書籍(令和8年度末まで)